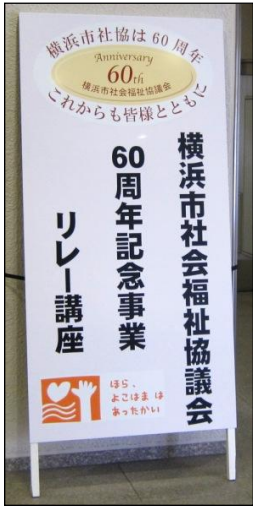


報告

横浜市社会福祉協議会
60周年記念事業 リレー講座①

無縁社会への挑戦

一地域で取り組む「見守り」「たすけあい」のこれから



平成23年9月21日(水)、横浜市社会福祉協議会 60周年記念事業としてリレー講座第1弾「無縁社会への挑戦」を実施しました。

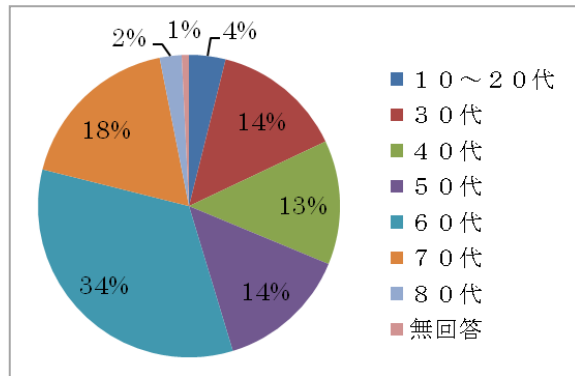
当日は、あいにくの荒天(台風15号接近)にもかかわらず、多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

当日参加者数 225名

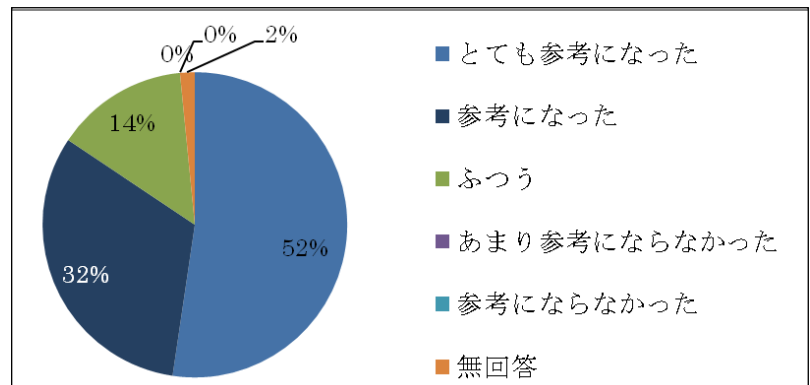
アンケート結果より (有効回答数: 128)

当日は、10～80代まで、幅広い層の方々にご参加いただきました。

また、本講座を知ったきっかけとして最も多かったのは「区社協福祉協議会・地域ケアプラザからの紹介」(42%)ですが、他にもチラシ(29%)やホームページ(8%)、新聞記事、ポスターなどさまざまところで情報を入手し、ご参加いただきました。



「本日の講座の内容は参考になりましたか?」という質問には、84%の方に「(とても)参考になった」とご回答いただきました。



基調講演

板垣 淑子 氏

(NHK 放送総局首都圏放送センター チーフプロデューサー)

アンケートの
コメントより抜粋



- ◆NHK の放送は見ていたが、板垣さんの話により、より深く理解でき、他人事ではなく、今まさに行動せねばと感じた。(50代)
- ◆板垣さんの、無縁社会の現状報告と社会をかえていくために私たちが声を出していきましょうという提言が良かった。(70代)
- ◆大変な時代だと思いますが、よく取り上げてくれました。(60代)
- ◆とてもわかりやすい内容と具体的映像・資料で紹介され、非常に興味深く、問題意識をもって聴くことができました。専門職とはまた異なった視点でとても現実的だと感じました。とても勉強になりました。(30代)

- ◆NHK で番組を見た時には、とても衝撃をうけました。

他人に迷惑をかけたくないと自分から縁を切る人が多いのか、はたまた知らない間にそうなるのかわかりませんが、都会では人を必要とすることが少ないと実感しています。主たる原因は見いだせませんが、この講座が考えるきっかけになりました。(60代)

- ◆無縁社会の DVD はショックでしたが、実際のことと受けとめ、仕事にも活かしていきたい。疑問をもちたいと思いました。(70代)



事例発表

「自治会・町内会単位の見守り・たすけあい活動 モデル事業」実施の3地域

- ・河西 英彦 氏 (鶴見区 / 平安町町会 会長)
- ・平田 吉治 氏 (神奈川区 / ラ・クラッセ西寺尾自治会 会長)
- ・大谷 郁二 氏 (金沢区 / 西富岡町内会 会長)
- ・小嶋 正夫 (横浜市社会福祉協議会 社会福祉部長) *コーディネーター

- ◆地域の状態はそれぞれ異なっても、状況に応じた取り組みを真剣に取り組んでいる様子に共感を覚えました。地域活動は福祉をこえたコミュニティづくりの視点が必要と思います。(70代)
- ◆自治会の方が自ら地域のあり方を考え、実現しようと動いていることに驚き、参考になりました。今後、たくさんの地域に手法を紹介し、その地にあった活動が広がると良いと思います。(30代)
- ◆ひとり暮らしをはじめ高齢者世帯の見守りは、これから先も地域団体のボランティア型活動で対応できるか？かと言って「無縁ビジネス」なのか。個人情報保護の問題もある。このリレー講座、第1回目からとても重要な問題を取り上げ、勉強になりました。(60代)



- ◆実践報告について。どの自治会ともとても工夫され、努力され、少しずつでも「地縁」の絆を育まれていると感じました。小さなことでも着実に実行されているご様子、とても大切だと感じました。是非参考にさせて頂きたいです。(30代)
- ◆高齢者が増える中、どう支え守るべきか考えさせられた。地域活動が楽しい事と思えるような社会づくりが必要と感じた。(40代)